

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

## 10. 呼吸器系の疾患 (インフルエンザ、鼻炎を含む)

### 文献

森壽生. 春季アレルギー性鼻炎 (花粉症) に対する小青竜湯と大青竜湯 (桂枝湯合麻杏甘石湯) の効果 -両剤の効果の比較検討-. *Therapeutic Research* 1998; 19: 3299-307. [MOL](#), [MOL-Lib](#)

### 1. 目的

春期アレルギー性鼻炎 (花粉症) に対する小青竜湯と大青竜湯 (桂枝湯合麻杏甘石湯) の効果

### 2. 研究デザイン

準ランダム化比較試験 (quasi-RCT)

### 3. セッティング

医院 1 施設

### 4. 参加者

1998 年 1 月 26 日から 1998 年 4 月 9 日まで受診した初診の花粉症  
虚証は除く 135 名

### 5. 介入

外来受付順による群分け。

症状が強いときはインターナル点鼻、点眼 (クロモグリク酸ナトリウム) を併用。

大青竜湯 (コタロー桂枝湯エキス細粒 5g + コタロー麻杏甘石湯エキス細粒 9g)

Arm 1: コタロー小青竜湯エキス細粒 7.5g x3 entry 28 名 解析可能例 15 名

Arm 2: 大青竜湯 14.0 g x3 entry 28 名 解析可能例 24 名

### 6. 主なアウトカム評価項目

くしゃみ、鼻汁、鼻閉

眼周囲搔痒感、流涙、眼脂、眼痛

### 7. 主な結果

症状別改善度は、Arm 1 と Arm 2 では有意差は認められなかった。

全般的改善度 (鼻症状の重症度) の軽度改善以上は Arm 1 は 46.7%、Arm 2 で 87.5% であり改善度に有意差を認めた。

### 8. 結論

症状別には小青竜湯と大青竜湯に効果の差がない。全般改善度は大青竜湯が小青竜湯に比べ有意に高い改善度を示す。

### 9. 漢方的考察

小青竜湯は中間証から実証に用いられるため、虚証の患者は除外した。また [森壽生, 嶋崎讓, 倉田文秋, ほか. 春期アレルギー性鼻炎 (花粉症) に対する小青竜湯と越婢加朮湯の効果 -両剤の効果の比較検討-. *Therapeutic Research* 1997; 18: 3093-9.] で越婢加朮湯が花粉症に有効であり、その構成生薬である、麻黄と石膏を含む大青竜湯を今回の比較試験に用いた。

### 10. 論文中の安全性評価

大青竜湯で 1 名、手足眼瞼の浮腫、体重増加あり、偽アルドステロン症であった。

### 11. Abstractor のコメント

森氏の花粉症に対する論文は小青竜湯が中心になっている。「馬場駿吉, 高坂知節, 稲村直樹, ほか. 小青竜湯の通年性鼻アレルギーに対する効果 -二重盲検比較試験-. *耳鼻咽喉科臨床* 1995; 88: 389-405.」を参照する必要がある。

### 12. Abstractor and date

藤澤 道夫 2008.10.13, 2010.1.6, 2010.6.1